



STEP WORLD TIMES

発行者 一般財団法人 日本ラーニング・ラボラトリー教育センター 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6251

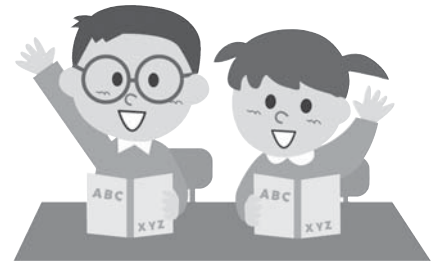
November 2012 No.78

英語のリスニング学習～2つのやり方とそのポイント～

北海道教育大学教授 横山吉樹先生

リスニングを難しいと言って嫌がる人がいます。その理由を聞いてみると、「途中で考える時間を持ってない」、「前に戻って読み返すことができない」という人が多いです。しかし、リスニングができれば、英語でコミュニケーションすることはできるようにはなりません。

ここでは、2つのやり方を組み合わせるといふ視点から、リスニング学習について述べていくことにします。



2つのやりかたとは？

リスニングには、2つのやり方があります。聞くものによって、どちらの方法にするのか考えてリスニングしましょう。やりかたの1つは、**たくさん聞くこと**です。その時に気をつけることは、できるだけ「1回しか聞かないつもりで聞くこと」、そして、「言っていることを理解する」ようにする。この時に、音楽を聞き流すように聞いてはいけません。理解するという処理を頭でしていなければ、言葉の学習にはなりません。

もう1つのやり方は、**教材を正確に聞くこと**です。短くてもかまいません。繰り返してもかまいません。どうしても難しければ、途中で停止ボタンを押してもかまいません。そこで立ち止まってなんて言ったのだろうとじっくり考えることが大事です。

たくさん聞くこととは？

この方法は、私たちが日本語を身につけたのとはほぼ同じやり方です。私たちは、幼いときからたくさん日本語を聞いてきました。毎日いろいろな人と話し、テレビや映画を見て、そこから新しい言葉や様々な言葉の使い方を学習してきました。そういう練習をしているから、あまり考えなくてもなんとなく言っているのか理解できるのです。つまり、その位聞かないとリスニングの力(英語の力)はつかないものなのです。

どんなものを聞いてもかまいません。英語の教材でもいいですし、ディズニーのアニメーションでもかまいませんが、興味をもって聞けるものがいいでしょう。また、この方法の場合、あまり難しすぎるものは適していません。自分のレベルと同じくらいか少し難しい位のものを聞くようにしましょう。

たくさん聞くときの工夫

一度で聞いたことを理解するのは難しいという人がいるかもしれません。そういう場合は、聞く前に**あらかじめどんな内容であるかを確かめてから聞く**というのも1つの方法です。挿絵がついているものであれば、最初にそれをじっくり見ること。Listening Quizのように質問があるものは、質問が終わったらそこでCDを止め、どんな内容なのかを考える時間をとる。そうすると、何のために聞くのかという目的もできますし、聞いている時に何を言っているのかを推測する手助けにもなります。

DVDの場合は、2回聞くようにするという方法もあります。最初は、映像をみて何が起きているのかを理解する。次に、音声を取り取ることに集中し、どんなことを言っているのか確かめるように聞く。こうすると、見るか

聞くかのどちらか一方しかしないですみます。そのため、2回目には、音声を聞いて意味を考えるとすることに集中できるようになります。

正確に聞くこととは？

DVDなどを見ながら「たくさん聞く」ことは大事なことです。しかし、それだけで英語の力をつけるのは、なかなか難しいことです。英語は私たちにとっては外国語ですから、聞くことによって英語を吸収できる下地を作る必要があるからです。

正確に聞くと言うことは、**何を言っているのかを聞き分けることができる**ということです。どんなことを言っているのか(意味)を理解することは大事なことです。しかし、それだけでは、英語でなんて言ったのか(形)が残らないこともあります。また、細かな点までは理解していないことも多いでしょう。それでは、どのようにすれば正確に聞けるようになるでしょう。

正確に聞くことの工夫

教科書のCD教材などは、正確に聞くための練習には適しています。どんなことを言っていたのかを書き記すこと(Dictation)によって、自分がどのように聞いていたのかを確かめることができます。日本人には難しいと言われる/r/を/l/と聞き違えることがあるでしょう(例 wrong/long)。過去形なのに、現在形と聞き間違える場合があります。語尾のわずかな音の変化ですので、音だけで区別するのは難しい時もあります。そのために、書いてみて間違っていないかを確かめてみる必要があります。

また、**英語の音の特徴に慣れる必要もあります。**連結^{れんけつ}といって、2つの語をひとまとまりにして言ったり(例, like it → [lakIt]), 前の音や後ろの音に影響^{えいきょう}されて本来の音が変わってしまったり(同化) (miss you /mɪs ju: → [mɪʃ ju:]), 似た音が続いたために音が発音されなくなってしまうこと(脱落)もあります。弱く発音されること(弱化)が多いinやonなどは聞き取りが難しいこともあります。このような音声にだけある特徴に注意して聞くことも大事な練習です。

最後に

リスニングは、英語の**基盤**を作ります。上達するためには、**英語の教材を正確に聞く練習だけでなく、身の回りにあるDVDやCDをたくさん聞くことが成功の鍵**となります。それを続けていくと、映画なども理解できるようになります。多くなりすし、考えなくても英語が口から出てくるようになります。

